

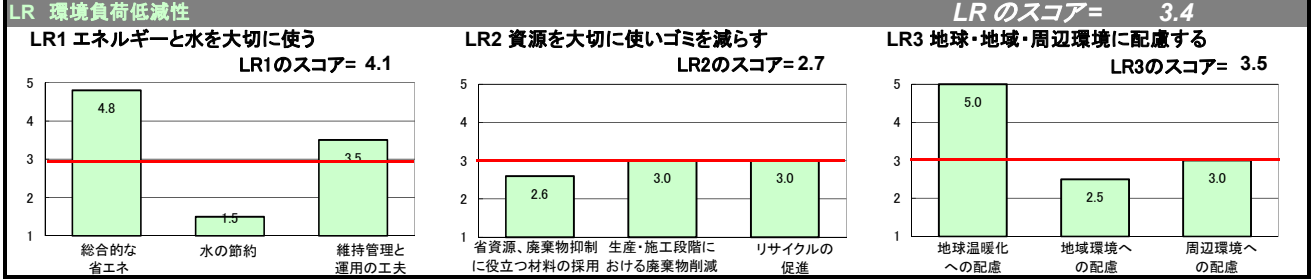
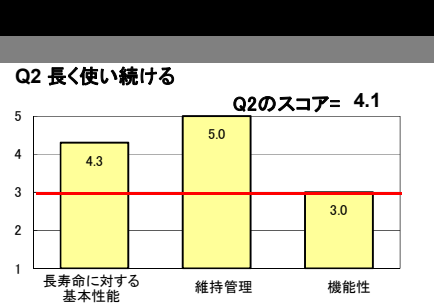
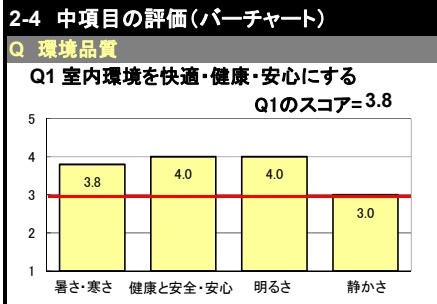
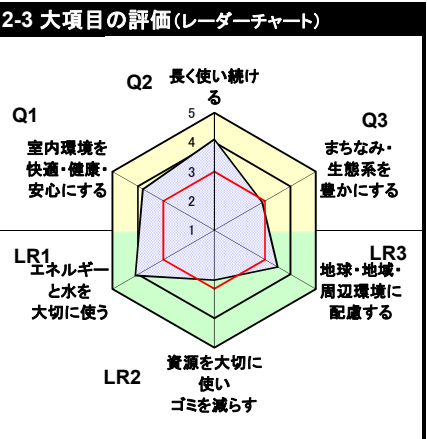
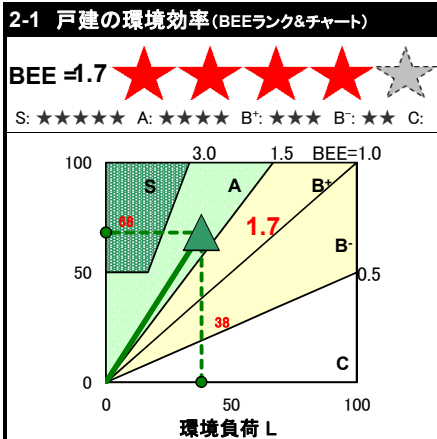
CASBEE[®]横浜[戸建] | 評価結果 | 2-042



■使用評価マニュアルCASBEE-戸建（新築）2016年版

■バージョンCASBEE横浜[戸建]2017年版v.1.4

1-1 建物概要			1-2 外観		
建物名称	個人住宅		仕様等の確定状況	建物の仕様 持ち込み家電等 外構の仕様	確定 仮 確定
竣工年月	2020年9月	竣工			
建設地	横浜市戸塚区南舞岡4丁目				
用途地域	第一種低層住居専用地域	確定			
省エネルギー地域区分	6地域				
構造・構法	鉄骨造	確定	評価の実施日	2020年7月4日	
階数	2		作成者	小幡 勤	
敷地面積	191 m ²	確定	確認日	2020年7月4日	
建築面積	59 m ²	確定	確認者	長沼 豊	
延床面積	108 m ²				
世帯人数	2	確定			



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要

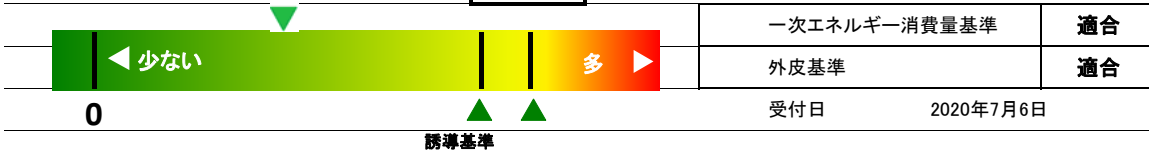
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。

建物名称 **個人住宅**

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 **5**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 57 %削減



■エネルギーを大切に使う (①建物の工夫 ②設備の性能 ③維持管理と運用)

①BEIO. 43

③電力消費量表示機器の設置。

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【健康・安心】 **5**

■室内環境対策 (④暑さ・寒さ)

◆断熱等性能等級 等級4を超える (相当)

■室内環境を快適・健康・安心にする (⑤健康と安全・安心)

⑤特定建材はF☆☆☆☆を採用

■その他の対策 (⑥自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防 災】 **5**

■災害に備える (⑦災害に備える ⑧長寿命に対する基本性能 ⑨地域の安全・安心)

⑦食器棚に扉キャッチ機構取付・蓄電池を設置して停電時に使用可能、太陽光発電により蓄電池に充電可能

⑧構造耐力上主要な部分に用いる鋼材の防錆仕様は溶融亜鉛メッキ

⑨犯罪防止については外構計画で可視性の高いフェンスを採用

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 **2**

■まちなみ・生態系を豊かにする (⑩まちなみ・景観への配慮 ⑪生物環境の創出)

太陽光発電などの導入



太陽光利用

エネルギーマネジメントシステム導入

HEMS

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

蓄電池

CASBEE 横浜 [戸建] | 評価結果 | 2-042



CASBEE横浜[戸建] (2017年版)
個人住宅

バージョン : CASBEE横浜[戸建]2017年版v.1.4

スコアシート				
配慮項目	重点項目	評価点	重み係数	全体
QH すまいの環境品質		-	-	3.7
QH1 室内環境を快適・健康・安心にする		-	0.45	3.8
1 暑さ・寒さ		3.8	0.50	3.8
1.1 基本性能		4.2	0.50	-
1.1.1 断熱等性能の確保	健康・安心	5.0	0.80	-
1.1.2 日射の調整機能	健康・安心	1.0	0.20	-
1.2 夏の暑さを防ぐ		4.0	0.25	-
1.2.1 風を取り込み、熱気を逃がす		5.0	0.50	-
1.2.2 適切な冷房計画		3.0	0.50	-
1.3 冬の寒さを防ぐ		3.0	0.25	-
1.3.1 適切な暖房計画		3.0	1.00	-
2 健康と安全・安心		4.0	0.30	4.0
2.1 化学汚染物質の対策	健康・安心	5.0	0.25	-
2.2 適切な換気計画	健康・安心	3.0	0.25	-
2.3 犯罪に備える	健康・安心	3.0	0.25	-
2.4 災害に備える	防災	5.0	0.25	-
3 明るさ		4.0	0.10	4.0
3.1 屋光の利用		4.0	1.00	-
4 静かさ		3.0	0.10	3.0
QH2 長く使い続ける		-	0.30	4.1
1 長寿命に対する基本性能		4.3	0.50	4.3
1.1 躯体	防災	5.0	0.30	-
1.2 外壁材		4.0	0.10	-
1.3 屋根材、陸屋根		3.0	0.10	-
1.4 自然災害に耐える	防災	5.0	0.30	-
1.5 火災に備える		3.3	0.20	-
1.5.1 火災に耐える構造		3.0	0.65	-
1.5.2 火災の早期感知		4.0	0.35	-
2 維持管理		5.0	0.25	5.0
2.1 維持管理のしやすさ		5.0	0.65	-
2.2 維持管理の計画・体制		5.0	0.35	-
3 機能性		3.0	0.25	3.0
3.1 広さと間取り		4.0	0.50	-
3.2 バリアフリー対応		2.0	0.50	-
QH3 まちなみ・生態系を豊かにする		-	0.25	2.9
1 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり	3.0	0.30	3.0
2 生物環境の創出		1.6	0.30	1.6
2.1 敷地内の緑化	地域・まちづくり	2.0	0.65	-
2.2 生物の生息環境の確保	地域・まちづくり	1.0	0.35	-
3 地域の安全・安心	防災	5.0	0.20	5.0
4 地域の資源の活用と住文化の継承		3.0	0.20	3.0
LRH すまいの環境負荷低減性		-	-	3.4
LRH1 エネルギーと水を大切に使う		-	0.35	4.1
1 総合的な省エネ		4.8	0.75	4.8
1.1 躯体と設備による省エネ	省エネルギー性能	5.0	0.90	-
1.2 家電・厨房機器による省エネ	省エネルギー性能	3.0	0.10	-
2 水の節約		1.5	0.15	1.5
2.1 節水型設備		1.0	0.75	-
2.2 雨水の利用		3.0	0.25	-
3 維持管理と運用の工夫		3.5	0.10	3.5
3.1 住まい方の提示	省エネルギー性能	3.0	0.50	-
3.2 エネルギーの管理と制御	省エネルギー性能	4.0	0.50	-
LRH2 資源を大切に使いゴミを減らす		-	0.35	2.7
1 省資源・廃棄物抑制に役立つ材料の採用		2.6	0.60	2.6
1.1 構造躯体		3.0	0.30	-
1.1.1 木質系住宅		3.0	1.00	-
1.1.2 鉄骨系住宅		3.0	-	-
1.1.3 コンクリート系住宅		3.0	-	-
1.2 地盤補強材・地業・基礎		3.0	0.20	-
1.3 外装材		1.0	0.20	-
1.4 内装材		3.0	0.20	-
1.5 外構材		3.0	0.10	-
2 生産・施工段階における廃棄物削減		3.0	0.30	3.0
2.1 生産段階(構造躯体用部材)		3.0	0.33	-
2.2 生産段階(構造躯体用以外の部材)		3.0	0.33	-
2.3 施工段階		3.0	0.33	-
3 リサイクルの促進		3.0	0.10	3.0
3.1 使用材料の情報提供		3.0	1.00	-
LRH3 地球・地域・周辺環境に配慮する		-	0.30	3.5
1 地球温暖化への配慮		5.0	0.33	5.0
2 地域環境への配慮		2.5	0.33	2.5
2.1 地域インフラの負荷抑制		2.0	0.50	-
2.2 既存の自然環境の保全		3.0	0.50	-
3 周辺環境への配慮		3.0	0.33	3.0
3.1 騒音・振動・排気・排熱の低減		3.0	0.50	-
3.2 周辺温熱環境の改善		3.0	0.50	-